

海の京都 与謝野町マスタープラン

Ver.1

うつくしどころ
美心をもたらす
観光のまちをめざして

平成26年1月

海の京都・与謝野町実践者会議

与謝野町の『ありたい姿』イメージ①



【現在のちりめん街道】



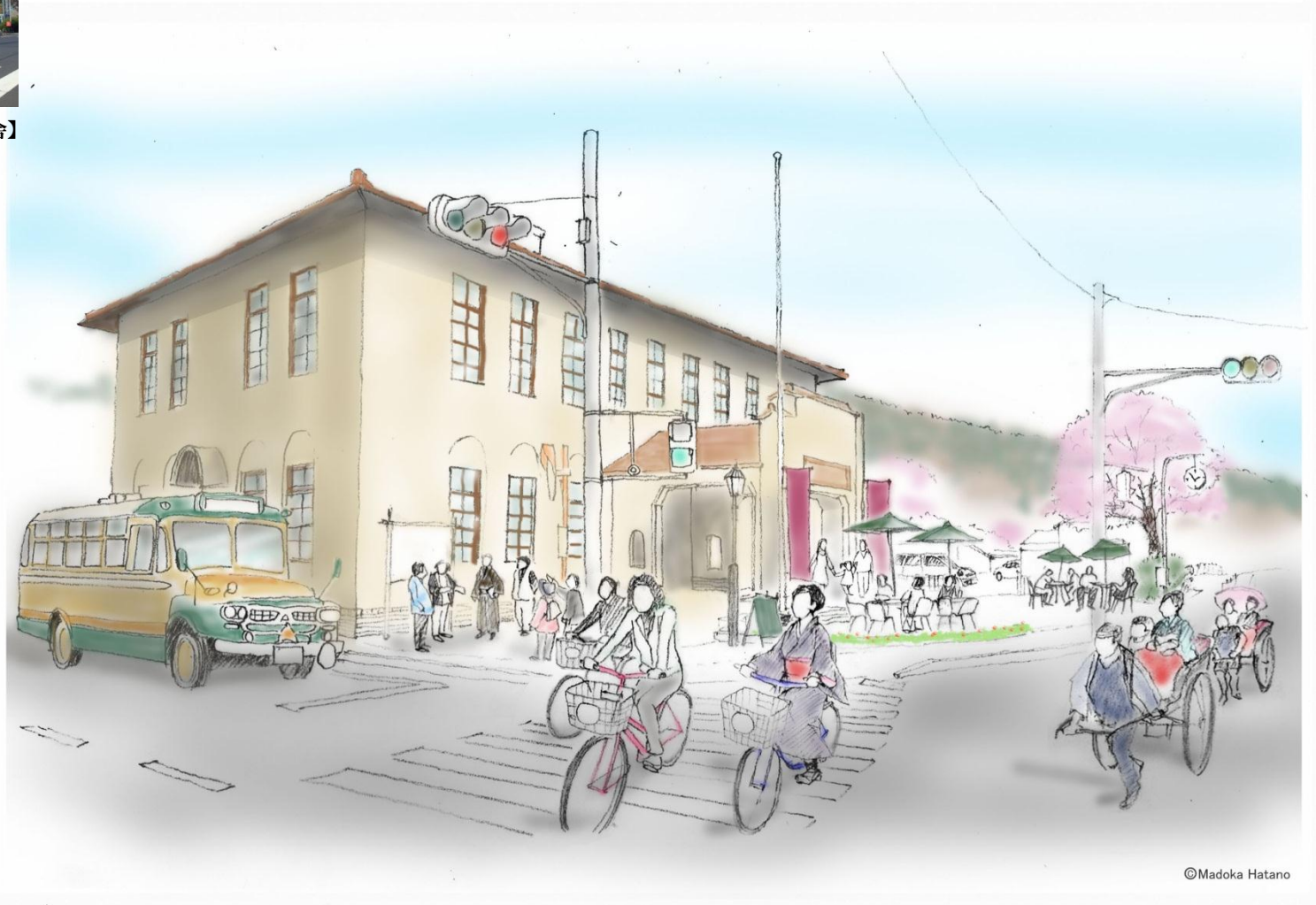
©Madoka Hatano

【 伝統的な建造物が並び、子どもからお年寄りまで生き活きと暮らす賑やかなまちに 】

与謝野町の『ありたい姿』イメージ②



【現在の旧加悦町役場庁舎】



©Madoka Hatano

【 地域の財産である伝統的な建造物の活用により、来訪者がまちへ誘われます 】

与謝野町の『ありがたい姿』イメージ③



©Madoka Hatano

【 まちの歴史やちりめん産業を知り、後世に伝えたい 】

戦略拠点：ちりめん街道周辺MAP



「海の京都 与謝野町マスタープラン」基本方針

《 ありたい姿 》

住民が生き活きと幸せに暮らせる町
子どもたちに明るい与謝野町を繋いでいく
町全体が繋がり発展する
歴史や産業を守り繋げていく

《 基本テーマ 》

昭和モダンとシルクの里 鉄幹・晶子ゆかりの町
うつくしところ
「美心 与謝野」
～美心をもたらす観光のまちをめざして～
訪れる人と受け入れる人が健康で知性あふれ、心も体も美しいと感じること

《 目標・イメージ 》

自走できる「仕組み」と「人」を創ります
古民家の活用、昭和モダンの町並みづくりを実行します
着物やシルク、地域の産品を活用します

《 戦 略 》

仕組みづくり・人づくり戦略

「ほこりづくり」の推進<歴史・文化・伝統の継承>

受入れ環境整備戦略

「もてなしづくり」の推進<受入れ環境・接客サービス>

売れる商品づくり戦略

「ものづくり」の推進<商品開発・販売戦略・情報発信>

私たちはこの事業をとおして与謝野町の『ありたい姿』を実現します

なぜ？与謝野町に観光づくりが必要なのか？

私たちはまず与謝野町の『ありたい姿』 = 『実現したい未来の姿』を話し合いました。

ありたい姿を実現するために、その手法のひとつとしてまちづくり観光を始めます。

これは、与謝野町の重点エリアである「ちりめん街道」と連携したまちづくり観光のマスタープランです。

住民が生き活きと幸せに暮らせる町
子どもたちに明るい与謝野町を繋いでいく
町全体が繋がり発展する
歴史や産業を守り繋げていく



与謝野町の『ありがたい姿』とは

住民が活き活きと幸せに暮らせる町とは

経済的に豊かで生活に張りがあり、個人個人が楽しみを見いだせる状態。更に住民が楽しんでいる姿を町内の色々な場所で見ることができる町。
心も体も健康で活発なコミュニケーションを取ることができる町。

子どもたちに明るい与謝野町を繋いでいくとは

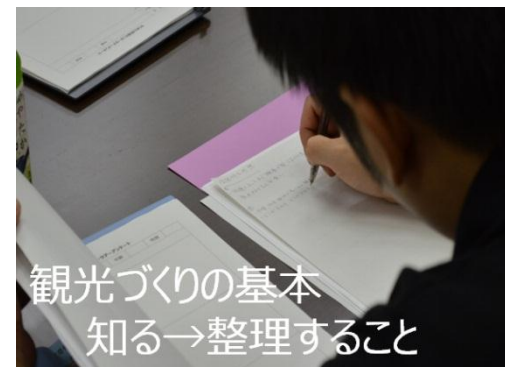
子どもたちが安全な地域の中でのびのびと育つことができる。子どもが大人と町の歴史や未来について一緒に語り合い、そんな触れ合いから地域愛を育むことができる。また、働き場が増え仕事が安定することで地元での就職やUターンが増え、安心して結婚や子育てができる。

町全体が繋がって発展するとは

町の未来を思い行動に移せる人が増え、個人から仲間へと広がり、皆で協働し発展していくために必要なことを考えることができる。そのためにも年齢や性別にとらわれずお互いが認め・補い合い協働する。与謝野町を訪れる人の想いと町のアイデアが合致し与謝野町のファンが増え交流人口の拡大に繋がる。

歴史や産業を守り繋げていくとは

町の宝である歴史や産業に住民自身が興味を持ち、知識を深め語り、受け継がれていく。時代のスピードを感じながら「変えていくこと・守っていくこと」を明確にして、情報を発信し続けていく。産業に関しては、匠や後継者の人材育成を町全体で支援していく。



基本テーマ

昭和モダンとシルクの里 鉄幹・晶子ゆかりの町

うつくしこころ

「美心 与謝野」

うつくしこころ

～美心をもたらす観光のまちをめざして～

訪れる人と受け入れる人が健康で知性あふれ、心も体も美しいと感じること

そのために皆で一緒に頑張るワクワクするまちづくり観光



自走できる「仕組み」と「人」を創ります

(1) まちづくり観光のプラットフォーム化、継続的な運営

- 町内にある組織やサークルなどの情報を整理する
どんな集まりがどのような活動に貢献しているのかを知る
情報が共有され風通しの良いネットワークができる
- 組織やサークルの連携を強化する
協働できる仲間探し、連携し情報発信などができるものは実行する
- 意見やアイデアを出せる場所＝実践者会議
「与謝野町のまちづくり」に共感できる有志が集まり、自由なアイデア出しや活動ができる機会の創出を行う
- 観光協会は情報整理、案内業務から営業・PR組織へ発展させる
そのためにも地域内の組織やサークルなどは協働し、観光協会の活動を最大化させる手助けを行う

(2) ちりめん街道から地域全体へ、そして丹後全体と連携・協働

- 与謝野町のありたい姿、まちづくり観光の重要性に関し広く町民全体へ共有していく
与謝野町における観光の役割、観光づくりイメージ・ブランド化の共通理解
- ちりめん街道のみならず与謝野全体のまちづくり観光へ発展させていく
- 周辺の観光資源や市町との連携を強化し丹後全体が協働することで目指す効果の最大化に挑戦する

古民家の活用・昭和モダンの町並みづくりを実行します

(1) 古民家を活用し人と人との繋がる空間づくり

- 古民家に住むということ・活用(商売など)するということがイメージできる町づくり
＜例＞暮らすように旅をする「与謝野町に住んでみたい・・・」と思ってもらうための観光づくり
- 空き家バンク制度を有効に活用し居住希望者や出店希望者などの、新しい人材との出会いの機会を創出
- 空き家所有者の地域への貢献が広く理解されるような情報発信を実現
- 古民家を活用したコミュニティスペースや店舗の設置
- 古民家ならではのゆったりとした長い時間の過ごし方を提案、訪れる人の気持ちを考えたおもてなし

(2) 町の雰囲気全体が「与謝野町らしい」と感じるようなデザイン

- 「与謝野町らしさ」を追求し、そのデザインがちりめん街道及び町並みに活かされる仕組み
- 歴史・文化・伝統の継承。ちりめん産業で栄えた当時の雰囲気も楽しみながら現在の生活も伝える
- 重伝建地区の旧加悦町役場庁舎をはじめ歴史を感じる景観を大切に保存し、人が集まる起点に活用
- 機音で魅せる町並みづくり。実際に機を織ってみたり、製造過程の見学も可能に
- 訪れる人が安心して滞在できるように、休憩所やトイレなどの設置や利用箇所の拡大
- 訪れる人が長時間滞在したくなるような滞在イメージと空間、サービス、おもてなしの準備

着物やシルク、地域の産品を活用します

(1) マーケティングに基づいた商品開発

- 訪れる人の気持ちになった商品づくり、地域資源とマーケットニーズのマッチング
マーケットの認知・興味関心・期待・満足を把握し、訪問者の行動パターンを掴む
- ターゲット別の趣味嗜好を考えつくして、より伝わりやすく効果が上がりやすい商品開発の準備
- 地域資源を観光資源に置き換え、実現可能な多くの体験プログラムを造成
- ちりめん街道を中心に様々な周遊ルートを完成させることで滞在の機会や時間を増やす
- 情報の整理、販売窓口の準備、そして振り返りを行い商品を磨き続けていく

(2) 地元の美味しいもの・地元が誇る産品の活用

- ちりめん街道の中で買い物や飲食ができる状態へ
- 地場産業である丹後ちりめん(シルク)にちなんだ商品開発や販売店の確保
- 京の豆っこ米や京都ブランド野菜など優良な食材・産品を活かしたご当地グルメの開発
また、町内の飲食店で地元食材を使用することで地域内消費も上げていく

(3) 旅行者の手に渡る、効果的な情報発信

- マーケティングを用いたターゲット別のプロモーション展開、効果的なプロモーション手法を獲得する
- ちりめん街道を戦略拠点とした情報発信で町内の観光資源や飲食店、販売店に誘導する
- 地域内外の宿泊施設等と連携して与謝野町での滞在プラン(滞在イメージ)情報を伝える

《戦略1》

仕組みづくり・人づくり戦略

「ほこりづくり」の推進<歴史・文化・伝統の継承>

ネットワークイメージ

海の京都・与謝野町実践者会議

情報共有、協働できる仲間づくり

協働プロジェクトづくり

プロジェクト
チーム

例えば・・・女子会、美心の会など

有志は自由に参加可能

参加

企画出し

住民&
協力者

各種団体

ちりめん街道を
守り育てる会

NPO法人ちりめん
街道未来塾

飲食・小売業者

与謝野町観光協会

宿泊
業者

加悦区

農林業者

与謝野町商工会

与謝野町

学校・教育機関

《戦略1》

仕組みづくり・人づくり戦略

「ほこりづくり」の推進〈歴史・文化・伝統の継承〉

戦略	組織名	概要	短期	長期	実施主体
仕組みづくり・人づくり戦略	役割整理	与謝野町実践者会議	○	—	民間
		女子会・美心の会 (in 実践者会議)	○	—	民間
		与謝野町観光協会	—	—	民間
		ちりめん街道を守り 育てる会	—	—	民間
		ちりめん街道未来塾	—	—	民間
		加悦鐵道保存会	—	—	民間
		加悦区	—	—	民間
		与謝野町商工会	—	—	民間
		与謝野町	—	—	与謝野町
		学校・教育機関	—	—	学校・教育機関
	組織連携	—	○	—	民間
	協働の機会 の創出	—	○	—	民間
	観光協会の 強化	—	○	—	民間

《戦略2》

受入れ環境整備戦略

「もてなしづくり」の推進<受入れ環境・接客サービス>

戦略	プロジェクト	概要	短期	長期	実施主体	
受入れ環境整備戦略	空き家対策 古民家の活用	体制整備	空き家実態把握、空き家対策関係団体との連携	○	—	与謝野町
		空き家バンク	空き家バンク制度の運営。所有者と希望者のマッチング	○	—	与謝野町
		空き家改修	改修支援の検討	—	○	与謝野町
		空き家周辺整理	除却支援の検討	—	○	与謝野町
	景観、建築物の維持・保存	町並み整備	ちりめん街道の歴史・文化を伝える伝統的建造物の修理・修景を行う	○	—	民間
		耐震化の推進	旧加悦町役場庁舎、旧尾藤家住宅等の伝統的建造物の耐震化を推進	○	—	与謝野町
		防災設備	防火水槽、消火栓、消火栓ボックス等の整備	○	—	与謝野町
		自然色舗装	「与謝野町らしさ」にマッチした舗装の検討	—	○	与謝野町
		電線(横断線)の整理	道路頭上をまたぐ電線の整理	○	—	与謝野町
		街路灯	町並みに合ったデザインの街路灯を整備	○	—	与謝野町
		のれん・灯籠	雰囲気づくり、メッセージ性のあるのれん整備、灯籠の増設	○	—	民間
		交通安全設備	信号機、ガードレール、ミラー等も町並みにマッチさせた設備(例:焦茶色に塗装など)	○	—	与謝野町
		加悦奥川改修	広域河川改修事業の推進に伴う大橋、天神橋改築及び周辺の修景	○	—	京都府
		裏道の美観整備	路地裏の周遊も視野に入れた環境整備	—	○	民間
	案内・誘導	誘導看板(動き)	商品開発と連動し観光客の滞在ニーズに合わせた散策ルートを提供	○	—	与謝野町
		案内看板(情報)	建物の歴史、文化などの情報を提供、古いものは新調する	○	—	与謝野町
		町内サイン	統一デザインにより観光看板を整備 不要なものは撤去	○	—	与謝野町

《戦略2》

受入れ環境整備戦略

「もてなしづくり」の推進〈受入れ環境・接客サービス〉

戦略	プロジェクト	概要	短期	長期	実施主体	
受け入れ環境整備戦略	おもてなし環境	美化運動	エリア内の美化運動の実施と運動のルール化	○	—	民間
		トイレの増設	観光客も利用できるトイレの確保（協力者の募集）と増設 利用できるトイレの情報整理や案内整備	○	—	民間
		資料館・博物館	ちりめん街道の歴史・文化を伝える資料館・博物館の開設	—	○	与謝野町
		はたおと 機音	本物の機音を聞くことが出来る場所の確保、情報整理（機音マップの作成など）	○	—	民間
		オープンハウス化 見学施設	ちりめん街道内の機場など、生活の場を見学できる場所の確保 見学可能な施設の情報整理	—	○	民間
		雨宿りする場	雨宿りできる場所の確保、情報整理	○	—	民間
		椅子、ベンチの提供	休憩できる場所の提供・設置、情報整理 期間限定で地域住民と連携し街道沿いにベンチを出すなどのおもてなし（サービス）開発	○	—	民間
		食事をする場所、カフェ	ちりめん街道付近も含め食事をする場所の設置、情報整理（飲食店マップの作成など）	○	—	民間
		土産物を買う場所	ちりめん街道沿いに土産物を買う場所の設置	○	—	民間
		宿泊施設（短期貸し）	短期滞在できる場所の提供 「暮らすように旅する」をコンセプトに新しい滞在のカタチを提案	—	○	民間
		貸しスペース	イベントや研修など手軽に短時間で利用できる場所の提供	○	—	民間
		野田川駅の改修	加悦鉄道の起終点である丹後山田駅（現：野田川駅）の歴史を感じれる場所に、おもてなしのスタート地点としてサービスの向上を図る	○	—	与謝野町
		自転車道リニューアル	加悦鉄道廃線跡であることを示す説明板や線路舗装などの設置	○	—	京都府
		旧加悦町役場庁舎の活用	施設の管理・活用（情報発信案内基地・お土産物などの販売・体験プログラムの受付など）	○	—	民間
		加悦S L広場の活用	S L広場のブランドイメージと滞在イメージを再構築 周遊ルートやターゲットに合わせたプロモーションを行う	○	—	民間
加悦鉄道の復活	蒸気機関車もしくはディーゼル車両運行に向けた検討	—	○	民間		

《戦略3》

売れる商品づくり戦略

「ものづくり」の推進〈商品開発・販売戦略・情報発信〉

戦略	プロジェクト	概要	短期	長期	実施主体	
売れる商品づくり戦略	商品開発	観光資源の洗い出し	観光資源の整理・お宝資源の発掘と地域資源の再構築	○	—	民間
		マーケティング調査	旅行市場ニーズの把握（認知・興味関心・期待・満足・動向など） アンケートやヒアリングなど	○	—	民間
		観光プランの造成	2～3時間でできる体験プログラムの造成 （手織り体験・染色体験・着付け・座禅体験など）	○	—	民間
		周遊ルートの造成	ちりめん街道の中での楽しみ方・過ごし方の提案 与謝野町全体の周遊ルートの提案（ターゲット別・テーマ別） 丹後の有名観光地と連動させた丹後全域の周遊ルートの提案	○	—	民間
		レンタサイクルの再構築	管理運営の充実、レンタサイクルコースの開発	○	—	民間
		イベントの統合・整理	丹後地域、与謝野町内のイベントの整理	○	—	与謝野町
		イベントの開発	観光客のニーズに応じたイベントの開発	○	—	民間
		販売窓口の確保	観光プランの販売・問合せ先窓口の設定	○	—	民間
	特産品開発	お土産物の開発	丹後ちりめんに関するお土産物・伝統工芸品に関する お土産物・食品食材（与謝野町優良産品制度と連動）の情報整理	○	—	民間
		ご当地グルメの開発	与謝野町で食べられる食の情報整理 ご当地メニューの開発	○	—	民間
	連携・協働	地域内業者との連携	飲食、宿泊、販売業者との連携 協働し商品化、PRを行う	○	—	民間
		旅行会社への対応	エージェントへの営業、着地型商品の営業、販売依頼、ご当地グルメ、 お土産物の紹介、商品化	○	—	民間
		KTRとの連携	野田川駅の時刻表に応じた周遊提案 KTR×レンタサイクル、KTR×バス、KTR×観光タクシー	○	—	民間
		丹海バスとの連携	バスの時刻表に応じた周遊提案、ボンネットバス運行の検討	—	○	民間
		近隣地域との連携	周辺市町の宿泊業者、観光協会との連携、情報提供、協働し商品化	○	—	民間
		近隣の重伝建地区との連携	交流による情報交換	○	—	民間
	情報発信	発地型情報発信	雑誌媒体、インターネット媒体でのPR、SNSを活用した情報拡散 メディアの取材獲得	○	—	民間
		着地型情報発信	着地型パンフレットの造成、宿泊施設やコンビニでの配布、地域内の 情報提供施設を確保	○	—	民間

